

環境コミュニケーション大賞（環境報告書部門）

環境コミュニケーション大賞制定 20 回記念大賞 採点表

2050 年以降の経営方針・ビジョンを、経営者のコミットメントも含めて明記している特に優れた報告書。

1. 国内外の長期的ビジョンをフォアキャストした、ビジョン・方針を打ち出しているか MAX 39 点

- ① SDGs を踏まえた方向性を示している。..... MAX 9
- ② パリ協定や IPCC ポート踏まえた方向性を示している。..... MAX 9
- ③ 地球温暖化対策計画を意識した方向性を示している。..... MAX 6
- ④ 上記①～③の他に、長期的な経営方針と、サーキュラー・エコノミーへの取組などを含む環境経営をバックキャストを用いて方針を打ち出し、示している。..... MAX 15

- 「3」 大変すぐれている
- 「2」 普通
- 「1」 劣っている
- 「0」 記述なし

2. 上記 1. に照らし、具体的な目標設定を、バックキャストしているか MAX 39 点

- ① 2030 年以降を見据えた環境目標がたてられている。..... MAX 6
- ② 環境目標が企業戦略と統合されている。..... MAX 9
- ③ 目標に対し、経営者コミットメントが明確である。..... MAX 9
- ④ 上記①～③の他に、中期的な目標を設定し、示している。..... MAX 15

- 「3」 大変すぐれている
- 「2」 普通
- 「1」 劣っている
- 「0」 記述なし

3. 社内カーボン・プライシングの導入 MAX 6 点

- 「3」 社内カーボン・プライシング制度を導入しており、企業戦略に積極的に活用している。
- 「2」 社内カーボン・プライシング制度の導入の具体的な検討を始めている。
- 「1」 社内カーボン・プライシング制度の方向性について言及がある。
- 「0」 記述なし

4. その他 総合評価 MAX 16 点

その他さまざまな要因を踏まえ、総合的に判断する。

※点数の考え方は項目ごとに上限を設定する加点方式のパターンとし、小項目毎に重みづけを行う。
以上